

富津市立保育所自己評価書

(吉野保育所)

- A → 大変よい
- B → よい
- C → 一部検討を要す
- D → 改善を要す

評価期間 令和4年4月～令和5年2月

令和5年3月

項目	内 容	評価 A. B. C. D	評価の根拠・改善策等
生命の保持・健康	<p>家庭との連携を密にし、嘱託医との連携を図りながら、子どもの疾病や事故防止に関する認識を深め、保健的で安全な保育環境の維持及び向上に努めている。</p>	A	<p>家庭と連絡を密にし、子どもの健康状態を把握し保育にあたった。コロナ等感染症予防対策を行ったり、保育所室内や園庭を定期的に点検したり、安全な保育環境を作り健全に過ごす事が出来た。嘱託医と連携を図り、健診結果を家庭に伝え子どもの疾病予防に努めた。</p>
	<p>愛情豊かな受容の下で、安定感を持って生活し、食事や午睡、遊びと休息など、快適な生活のリズムが形成されている。</p>	A	<p>子どもの状態や家庭環境を考慮し生活リズムを整え保育した。また、子どもの気持ちに寄り添って保育し、子どもが安心して自分の気持ちを表現できる環境や関係が出来ている。</p>
	<p>様々な活動に親しみ、楽しんで取り組んでいる。</p>	A	<p>季節の遊びや子どもの興味関心ある活動を広げ、子ども達が様々な経験を楽しんで行うことができた。運動会をきっかけに園全体に広がり発展した遊びを皆で継続して楽しむことができた。</p>

人間関係

<p>子どもたちが保育士等に思いや行動を受け止めてもらい、応答的な関わりの中で、安定感をもって過ごせている。</p>	A	<p>保育士が子どもに寄り添い肯定的に受け止めることで、子どもが自分の思いを安心して表現することができ、保育士や友達と安定した関係の中でのびのびと過ごせている。</p>
<p>生活や遊びの中で、身近な人への関心を持ち、真似をしたり、ごっこ遊びを楽しめるようにしている。</p>	A	<p>園外保育で働く人を見たり、絵本を見たりすることで、消防、警察、医者、お店屋さん等の職業や身近な人への関心が高まり、ごっこ遊びが盛んになった。コロナ禍ではあったが異年齢で楽しむことができた。</p>
<p>自分の思ったことを相手に伝え、相手の思っていることに気付くよう促している。</p>	A	<p>子どもの思いを代弁したり、子どもの気持ちを汲みながら繰り返し丁寧に伝えたりし、相手の気持ちに気付けるように保育した。</p>
<p>生活や遊びの中で決まりの大切さに気付き、守ろうとする意識が育つよう援助している。</p>	A	<p>生活や遊びの中で、ルールを繰り返し伝えたり、一緒に考えたり確認する時間を持ったりしている。自分達で気づき意識する姿が見られるようになった。</p>

環境	安全で活動しやすい環境の下で探索活動を通して五感の働きを豊かにする機会を作っている。	B	クラスにとらわれず職員全体で子どもが様々な経験や感覚を味わいじっくり遊び楽しめる環境を作った。散歩に出かける機会をもう少し増やしていきたい。
	生活や遊びの経験を重ねながら、形、色、大きさ、量、音などの物の性質に気付くよう働きかけている。	A	日々の生活や遊びの中で、大小や形、色、音等の性質に気づいたり、試し調べたりしていた。また、保育士が間に入り子どもの発見を発信し、多くの子の気づきにつながるようにした。更に興味が深まっている。
	自然に触れて遊ぶ中で、その大きさ、美しさ、不思議さなどに気付く機会を作っている。	A	季節の自然物で遊んだり、生き物を飼育したり、野菜を育てたり、積極的に園外保育に出かけたりする中で自然の素晴らしさ、不思議さを感じることができた。雲や風ツララや霜、虹、匂い等内容も多岐にわたり伝え合う姿が見られる。
	日常生活の中で、数量や図形、標識や文字などに関心をもつよう心がけている。	A	個人差や年齢に合わせ、遊びの中で数量、形、数字など関心が持てるよう

			にした。年長児は、カードや文字のゲーム、文字積み木、数字、図形など環境設定をし、様々な方法で興味を持ち認識できるようにした。遊びの中で活用し表現を楽しんでいる。
言葉	保育士等の応答的な関わりや話しかけにより、自分の要求や気持ちを伝えられるよう配慮している。	A	一人ひとりの思いを丁寧に聞いて、自分の気持ちを伝えやすい雰囲気作りをした。自分の言葉で伝えようとする姿が増えてきている。また、相手の気持ちに気づくことにもつながっている。
	絵本や紙芝居を楽しみ、簡単な言葉を繰り返したり、模倣したりして言葉の感覚が豊かになるよう働きかけている。	A	毎日絵本の読み聞かせをし、楽しんでいる。年長児は素話も楽しめるようになった。移動図書館の利用や家庭への絵本の貸し出しなどを行い親子で絵本を楽しめるようにしている。繰り返しの言葉を真似たり、劇ごっこを楽しんだりすることができた。

	<p>保育士等や友達の言葉や話に興味や関心を持ち、親しみをもって聞いたり、話したりできるように配慮している。</p>	A	<p>言葉だけでなく、表情や仕草で伝えようとする子どもの気持ちを受け止めている。また、保育士が子どもの思いに共感することで、話を聞いてもらうことの心地良さを感じられるようにした。自分の話を聞いてもらうことで相手の話を聞こうとする姿勢が育ち、人の話を集中して聞けるように成長した。</p>
	<p>生活の中で必要な言葉の意味や使い方を知ることができるよう心がけている。</p>	A	<p>当初、状況に応じた言葉がわからず、手を出しトラブルになったり、泣いて訴えたりする事が多かった。挨拶する事や、友達との関わりの中で状況に応じた言葉を丁寧に繰り返し伝えていくことで、自分で考え発言できるようになってきた。</p>
表現	<p>水、砂、土、紙、粘土など様々な素材に触れ五感を使い楽しむ機会を作っている。</p>	A	<p>廃材等、様々な素材を使って制作を楽しむことができた。また、砂・泥の違いに気づいたり、水を使いダイナミックに遊ん</p>

		<p>だりすることが十分できた。</p>
	<p>音楽に合わせて体を動かすことの楽しさを味わう機会を作っている。</p>	<p>B</p> <p>わらべ歌遊びや楽器演奏、リズムや体操、ダンスなど身体を動かす楽しさを味わうことができた。また、それを保護者に見てもらおう機会も設けた。行事では季節の歌を楽しんだ。今後、様々な歌に親しめるようにしていきたい。</p>
	<p>生活の中で様々な音、形、色、手触り、動きなどに気付いたり、感じたりするなどして楽しむよう働きかけている。</p>	<p>A</p> <p>様々な感覚を感じることができる機会を見逃さず伝え、子どもの発見や驚きを共感し広げていった。子どもから積極的に発信するようになり、みんなで楽しめていた。</p>
	<p>生活の中で、保育士等や友達と感動を共有することや伝え合う楽しさを味わえるよう心がけている。</p>	<p>A</p> <p>生活の中で小さな事でもみんなで共有し喜び合っている。運動会・発表会などの行事では、仲間と達成感を味わうことができた。</p>
<p>保護者への支援</p>	<p>一人ひとりの保護者と、日常的な情報交換に加え、個別面談などの機会を作っている</p>	<p>B</p> <p>送迎時の会話や連絡帳の利用、写真付き記録の掲示、個人面談をし、子どもの様子を伝えたり保護</p>

		者の相談を受けたり、共に子どもの成長を喜び合うことができた。
	家庭状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。	A 日誌、児童票、療育計画等子どもの成長について必要な事項は記録している。園児や家庭の状況に合わせたカリキュラムを作成し実践している。
	保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、迅速に対応している。	B 保護者が相談しやすい雰囲気作りや体制はとれている。コロナ禍での行事のあり方や体調不良時の家庭保育など要望への対応の難しさがあった。
行事	行事のねらいを計画や実施に十分生かしている。	B 子どもの興味関心あるものを取り入れ、主体的な保育が出来た。行事に対して何を大切に育てていくか確認し、共通理解を持って取り組んでいきたい。
	保護者の願いや意見を取り入れている。	B コロナ禍で行事の制限はあったが、少しでも子どもの様子を見て理解してもらえるよう工夫した。今後、コロナ禍でできなかった保育参加を行い子

		<p>どもの様子を見てもらう機会を設けていきたい。</p>
	<p>計画・実施・評価・改善の体制をとっている</p>	<p>A</p> <p>職員会議で話し合い計画・実施し調整しながらすすめた。終了後には必ず振り返りを行い改善点など次に生かした。</p>
その他	<p>乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っている。</p>	<p>A</p> <p>個人情報の適正な取り扱い方を職員全員に周知している。また、適切に保管した。</p>
	<p>園内研修を実施している。</p>	<p>A</p> <p>外部講師を招いての研修及び保育士自ら課題設定し行う園内研修を積極的に実施した。職員の共通理解、保育の向上につながっている。</p>
	<p>掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用している。</p>	<p>A</p> <p>掲示板を利用し、子ども達の活動写真記録や、感染症の流行対応等の情報について迅速に知らせることができた。</p>